

平成 20 年版 あいちの教育に関するアクションプランの実施状況

平成 19 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書

趣旨

プランでは、掲げた政策目標の達成に向けて、毎年度、施策の進捗状況の把握と評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を公表することとしていることから、有識者等からの意見も聴取した上で、19 年度の実施状況についてとりまとめた。

位置づけ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、20 年 4 月から、教育委員会に対して、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出することが義務付けられた。本プランは、本県教育の総合的な行動計画であることから、その実施状況について点検及び評価を実施した報告書を、法に規定する点検及び評価の趣旨を満たすものとして位置づける。

めざす「あいちの人間像」とその実現に向けた取組

1 「かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間」を育てるために

主な施策の実施状況

命を尊ぶ心の育成のため、モデル園・校を選定(全市町村)するとともに、親を対象に「命」をテーマとしたフォーラムを開催
スクールカウンセラー(小学校:拠点校 70 校、中学校:全校)によるカウンセリングの実施
子どもの話し相手等として、大学生を家庭へ派遣
小学校高学年における教科担任制をモデル校で実施
学校安全ボランティア(スクールガード)を全小学校へ配置
安全なまちづくりのためのモデル事業や、防犯ボランティア活動リーダー養成アカデミーなどを実施

2 「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」を育てるために

主な施策の実施状況

ベテラン教員が指導者となり、若い教員が実践的な研究会グループで研鑽する「あいち授業塾」を創設
指導実績のある教員経験者等を「授業名人」として活用
特定の分野に秀でた「その道の達人」を、希望する学校へ派遣する人材バンクを創設
教員志望の大学生を「学習チューター」として小中学校 30 校に派遣
5 日間程度の職場体験等を「あいち・出会いと体験の道場」として公立中学校 265 校で実施
県立高校で、普通科も含む 85 校においてインターンシップを実施するとともに、企業の代表なども参加した推進会議を開催
小中学校に在籍する発達障害の児童生徒に対する指導充実のための教員配置や体制整備を推進
特別支援教育コーディネーター(7 校)や指導員(3 事務所)の配置
日本語教育適応学級担当教員の配置基準の改善
語学相談員 7 人を教育事務所に配置し、学校などに派遣

3 「健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間」を育てるために

主な施策の実施状況

総合型地域スポーツクラブの創設と充実を支援
「季節の我が家の朝ごはん」カレンダーを作成、配布
「あいち子ども芸術大学」を開催し、小中学生を対象に第一線で活躍する芸術家との交流等、文化芸術に身近に触れる機会を設置

4 「次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間」を育てるために

主な施策の実施状況

公立学校にネイティブスピーカー 70 人を外国語指導助手として配置、高等学校の英語教員を海外へ派遣(3 人)
県立学校の校内 LAN を全校整備、電子黒板等の効果的な活用方法などについて実践研究を実施
「あいち環境学習プラザ」で、「環境学習情報ライブラリー」を運営
専攻科の設置を視野に入れた、より実践的なモノづくり教育を行う総合技術高等学校の設置に向けた準備

5 魅力ある教育環境づくり

主な施策の実施状況

各地域における子育てのリーダーを養成するための講座や、そのネットワーク化を図るための事例発表会を開催
放課後児童クラブ(469 箇所)や放課後子ども教室(25 市町 114 教室)の運営を補助
高等学校 101 校、特別支援学校 17 校で学校評議員を設置
小学校第一学年において少人数(35 人編制)学級を実施
県立高等学校の再編整備について、第 2 期実施計画(2 次分)を策定
教員養成大学と教員の資質向上に向けた具体的な取組を協議するとともに、連携して教員の研究プログラムを作成
私立学校の経常的経費への助成、私立学校に在籍する生徒の保護者に対し授業料等の一部を軽減するための補助
教育委員との協議の場を拡充するとともに、教育関係者や公安委員などとの意見交換や調査活動を実施
市町村教育長どうしが協議する場に、県教委幹部が積極的に出席し、情報や意見を交換

家庭・地域・学校の協働による教育の推進

プランの基本姿勢である、家庭・地域・学校の協働による教育を推進するための象徴的な取組として、19 年度は、家庭教育の大切さを訴えることに焦点を絞った教育キャンペーンを展開した。

キャンペーンのテーマ

わが家の「ノーテレビデー・ノーゲームデー」をつくり、家族との団らん、学習、読書などの時間として活用しましょう

キャンペーンの内容

街頭キャンペーン

県内 27 箇所において、啓発グッズの配布によるキャンペーン活動を実施。特に、県主催キャンペーンでは、家庭、地域、学校及び行政の代表者 41 名が、三者協働による教育の推進をアピール

啓発ちらしの配布

市町村教育委員会や PTA、学校等に対して、各家庭へのちらし配布を依頼

ポスターの掲示(5,000 枚)

県や市町村の機関、学校等の教育機関の他、鉄道主要駅構内やデパート、ショッピングモール等にポスターの掲示を依頼

県庁内での取組

庁内放送や掲示板を通じて、県庁職員等への呼びかけ
知事メッセージの配布(322,400 部)

名古屋市を除く全公立小学生の保護者を対象に知事のメッセージを掲載したちらしを配布(322,400 部)

キャンペーンの効果、検証

市町村又は学校単位で独自の取組が展開された。

県政モニターへのアンケートやインターネットによるアンケートにより、キャンペーンの認知度等の調査

その他の「家庭・地域・学校の協働による教育」の推進の取組

産業労働団体や NPO、市町村教育委員会との意見交換を実施

あいちの教育に関するアクションプラン 政策目標の進捗状況

目 標	指 標	平成19年度の状況	⇨ 平成22年度目標値
かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間			
地域の活動に参加する児童生徒の増加をめざします。	地域等の活動へ参加した児童生徒の割合	小学校6年生65.6% 中学校3年生36.6%	⇨ 100%
いじめのない学校をめざします。	いじめの解消率(いじめ解消数÷いじめ発生数)	94.9% (18年度)	⇨ 100%
不登校児童生徒の復帰率の向上をめざします。	不登校児童生徒の復帰率 (不登校からの復帰児童生徒数÷不登校児童生徒数)	25.9% (平成18年度)	⇨ 50%
子どもたちにとって安全な地域づくりをめざします。	「こども110番の家」の設置数	65,937か所 (20年3月末現在)	⇨ 7万か所
自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間			
子どもたちの学習意欲の向上をめざします。	放課後に学習していない児童生徒の割合	小学校6年生4.7% 中学校3年生5.6%	⇨ 0%
生徒の進路希望や興味・関心に応じた教育をめざします。	多様な科目(50を超える)を開設している県立高等学校の割合	14%	⇨ 25%
中学校での職場体験活動の充実をめざします。	5日間程度の職場体験を実施する中学校の割合	87.2%	⇨ 100%
障害のある子どもの自立をめざします。	特別支援学校高等部卒業生の就職・進学率の割合	52.0%	⇨ 60%
外国人の子どもの不就学の把握に努め、解消をめざします。	就学していない外国人の子どもの数	〔実態把握できるシステム〕 の確立を国に要請	⇨ 解消 (平成27年度)
健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間			
地域でスポーツに親しむことができる環境の充実をめざします。	総合型地域スポーツクラブを設置している市町村の数	23市町	⇨ 全市町村 (平成24年度)
子どもたちの望ましい食習慣の定着をめざします。	朝食を欠食している児童生徒の割合	小学校6年生4.5% 中学校3年生8.1% 高校生(調査結果なし)	⇨ 小学生0% 中学生3%以下 高校生5%以下
文化芸術に親しむ人の増加をめざします。	県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率	69.8% (平成18年度)	⇨ 80%
学校での読書活動の充実をめざします。	全校一斉読書活動をしている学校の割合	小学校97.1% 中学校91.7%	⇨ 100%
次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間			
学校における情報教育の環境整備の充実をめざします。	コンピュータ1台当たりの児童生徒数	高等学校 8.6人/台 特別支援学校6.2人/台 (平成18年度)	⇨ 高等学校 6.6人/台以下 特別支援学校2.7人/台以下 (平成23年度)
	コンピュータを活用して指導できる教員の割合	高等学校 39.8% 特別支援学校55.5% (平成18年度)	⇨ 100% (平成23年度)
環境保全への関心の向上をめざします。	むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合		⇨ 50%
	地域の清掃活動へ参加したことがある児童生徒の割合	小学校6年生59.0% 中学校3年生50.4% (平成19年度県内公立学校)	⇨ 50%
専門高校の生徒の技術、技能の習熟・向上をめざします。	専門高校の生徒のうち技術認定顕彰者数	5,336人	⇨ 5,300人